

7月13日～8月25日

夏休みスタンプラリーイベント

夏休み中の小・中学生を対象とした「夏休みスタンプラリー」が今年も始まりました。今回は例年の県下文化施設6館（考古博物館・県立博物館・美術館・文学館・ジュエリーミュージアム・近代人物館）に加え、新たに富士山世界遺産センターと県立図書館、科学館を併せた全9館を対象としたスタンプラリーにバージョンアップ！当館でも期間中に1人でも多くの子どもたちに楽しんでもらえるよう、日替わりでさまざまな体験イベントを開催しました。



- とんぼ玉をつくろう！
- 勾玉・大珠をつくろう！
- ミニミニ青銅鏡をつくろう！
- 古銭をつくろう！
- プラバン de 古墳のお宝！
- 名探偵コフンのなぞ解き考古博
- ミニミニ☆発掘体験！

新作缶バッジも登場！



7月16日

夏休み自由研究プロジェクト

県内の博物館・美術館がアイメッセ山梨に大集結！自由研究のヒントになるような各館の特色あふれる楽しいブースが展開され、親子連れを中心に多くの方が訪れました。当館でもプラバン製のカラフルな勾玉ペンダント作りに挑戦してもらうとともに、自由研究のアイデアやワンポイントを提供するため、当館主催の自由研究コンクール「わたしたちの研究室」の優秀作品を展示しました。



くるみ割ってみた。



思わず熱中！ミニミニ☆発掘体験！

小さな発掘現場(?)でお宝さがし！土の中には何が埋まっているのかな？



作品をしっかりチェック！



カラフル☆勾玉づくり

E 体験 xperience

より実践的な体験を通して、考古博物館にもっと親しむ！

5月～8月 職場体験

随時募集中！

当館では県埋蔵文化財センターと合同で職場体験の受け入れをしています。本年度もすでに12校34名の中学生たちが参加し、博物館や発掘に関わるさまざまな業務に挑戦しています(8月末現在)。具体的な仕事内容としては、遺物の洗浄・整理・梱包といった本物の考古資料に触れるもののほか、来館者のみなさんに向けての展示解説、イベントの準備など多岐にわたります(内容は都度変わります)。下半期も引き続き受け入れていく予定ですので、ご希望の方はまず一度、下記までお問い合わせください。

8月1日～11日 学芸員実習

毎年夏休みの一定期間に、学芸員資格を取得するために学んでいる大学生を受け入れて、学芸員実習を行っています。本年度は2名の学生を迎え、遺物の整理作業や写真撮影、梱包作業、展示会の企画など、学芸員としての実践的な業務に取り組んでまいりました。尚、実習生の募集受付は例年、年明けから初春にかけて行っております。来年度の実習をお考えの方は当館ホームページでの告知をお待ちいただくか、学芸課(055-266-3881)までお問合せください。



遺物とポーズ！



考古学専攻の2人の学生さんがきてくれました



弥生時代コーナーで展示解説に挑戦！



大きな作品の展示もしてみました。

TEL 055-266-3881(考古博物館・学芸課)
※受け入れの日程は応相談

Next Exhibition 一次回展示

冬季企画展

観覧料：無料

山梨市の出土品Ⅱ

自治体に専門の施設を持たない地域の遺物を紹介するシリーズ最新版。今回は昨年のパートⅠに引き続き、山梨市の遺跡と発掘品にスポットを当て、普段なかなか見ることのできない貴重な品々を紹介します。

12月7日 土 ~ 令和2年 1月26日 日



【複製品】
「山梨郡」から送った税（クルミ）の荷札につけられた木簡



原品は「平城京」で発見!

ほかにも無料で見られる展示イロイロ!

令和2年

1月2日 木 ~ 26日 日

新年干支展 一子(ねずみ)一

2月9日 日 ~ 29日 土

富士山ミニ展示

2月29日 土 ~ 4月5日 日

風土記の丘望見展

観覧無料

第17回

観覧料：無料

わたしたちの研究室 研究成果展示会

小中学生を対象に、夏休みの自由研究や総合的な学習の時間に取り組んだ研究成果を募集するコンクール「わたしたちの研究室」。この展示会では、同コンクールで優秀な成績をおさめた作品を筆頭に、応募いただいたすべての作品を展示公開いたします。

また、展示会に先立って、9月1日~11月10日の期間には作品の募集もいたしますので、ふるってご応募ください。

令和2年 2月8日 土 ~ 3月8日 日



第16回受賞者作製人形(ひとがた)



昨年度展示会の様子



第16回受賞者作品(一部)

募集種別

◆個人研究部門 (小学校の部・中学校の部)

◆団体研究部門

くわしくは募集要項(考古博物館HP)をごらんください

※最優秀賞(県教育委員会教育長賞)ほか、優秀な作品は部門ごとに各種表彰いたします(賞に応じて賞状・副賞の授与あり)

応募形式

作品の形式は自由です【模造紙・レポート・立体作品(土器、石こう像など)・絵画・映像など】
応募用紙に必要事項を記入の上、作品に添付して郵送もしくは直接考古博物館へお持ちください。
※応募用紙は募集チラシの下部を切り取るか、考古博物館HPからダウンロードしてください。

Report —開催報告—

春季企画展

4月20日(土)～6月16日(日)

『人口拡大の時代 —郷村・荘園の成立と展開—』

およそ1000年前の平安時代の中頃、律令国家から王朝国家への転換期にあたるこの時期から人口が急激に拡大する理由や、中世において自立的な村落を運営していた郷村の姿について紹介。本展では文献資料と考古資料とを対比させることで、社会背景の変化と物質文化の対応について考察しました。期間中には、古代の戸籍作りに挑戦するイベントや、納税と戦う(?)国司の生きざまを描いた「国司人生ゲーム」なども来館者に楽しんでいただきました。



国司人生ゲーム



戸籍作り体験!

7月13日(土)～8月25日(日)

夏季企画展

『山梨にでっかい古墳ができたわけ。—上の平遺跡発掘40周年—』

今年で発掘開始から40周年を迎える上の平遺跡と、周辺に隣在する遺跡や古墳時代前期の前方後円(方)墳などと併せて、古墳の発生や権力の生成について着目。とりわけ、東日本随一の密集度を誇る125基もの周溝墓が検出された上の平方形周溝墓群の在り方や特質を明らかにし、169mという古墳時代前期における東日本最大級の墳墓を生み出すにいたった弥生時代後期～古墳時代前期における甲府盆地の様相について、あらためて考える展示となりました。夏休みに合わせ、展示室には毎年好評の遺物ぬりえコーナーを設け、多くの子どもたちに描いてもらいました。



ぬりえイロイロ!



史跡文化財セミナー

専門家の解説とともに地域の史跡や歴史施設を歩いてめぐろう!

第77回 11月2日(土)

甲斐風土記の丘と米倉山をめぐる

第78回 令和2年3月15日(日)

山梨市の原始・古代をたどる

考古学講座

日本遺産

『星降る中部高地の縄文世界』の魅力語る

今年の考古学講座は

「日本遺産『星降る中部高地の縄文世界』の魅力語る」をメインテーマに、全4回の日程で開催しました。本講座では、日本遺産に認定された山梨を含む中部高地に華開いた豊かな縄文文化について、毎回さまざまな切り口から紐解いていきました。事前予約制でしたが、定員を大きく上回る応募があった回もあり、日本遺産に対する関心の高さがうかがえる講座となりました。

6月22日(土)「黒曜石のネットワーク」

講師：保坂康夫氏(山梨学院大学非常勤講師)

7月6日(土)「物語を描いた土器と花開く縄文芸術」

講師：渋谷賢太郎氏(葦崎市教育委員会)

7月20日(土)「繁栄を祈った土偶たち」

講師：一瀬一浩氏(釈迦堂遺跡博物館)

8月3日(土)「総論：星降る中部高地の縄文世界」

講師：佐野隆氏(北杜市教育委員会)

小・中学生対象

チャレンジ博物館

各回開催日の1か月前から募集開始

- 9月1日(日) 弥生時代の矢じりづくりにチャレンジ
- 9月29日(日) 石包丁づくりにチャレンジ(1)
- 10月20日(日) 石包丁で収穫・古代衣装着用体験(2)
※(1)(2)は連続講座です。
- 11月17日(日) 土偶づくりにチャレンジ(特別展連携)
- 12月1日(日) 干支の土鈴(ネズミ)づくりにチャレンジ
- 1月19日(日)・2月2日(日)
縄文土器づくりにチャレンジ～土器づくりから野焼きまで～
- 2月16日(日) 青銅鏡づくりにチャレンジ
- 3月15日(日) ミニミニ銅鐸づくりにチャレンジ

16歳以上対象

原始古代の技に学ぶ

各回開催日の1か月前から募集開始

- 9月7日(土) 小銅鐸作り
- 10月5日(土) 縄文風陶器作り(特別展連携)
- 10月27日(日) 土器ドキクッキー作り(特別展連携)
※親子・個人向け
- 12月14日(土) 染め物体験
- 1月11日(土)・18日(土)・2月2日(日) 縄文土器作り
- 2月8日(土) 青銅鏡形チョコレート作り ※親子・個人向け
- 2月9日(日) 青銅鏡形チョコレート作り ※親子・個人向け
- 3月7日(土) 青銅器・剣形ペーパーナイフ作り

D-1 グランプリ!

D-1のDは土器(Doki)・土偶(Dogu)土製品(Dose-hin)の頭文字『D』!?
...というわけで、今年の望見展で一般公募した手作りの土器や土偶、土製品を展示し、作品の人気投票を実施した結果、見事「山梨縄文王」が決定しました!



- 一般の部
グランプリ
- 小中学生
部門1位
- 土偶
土製品の部

- モデル 海道前C遺跡出土・人面装飾付土器
製作者 なが山房子さん
- モデル 安道寺遺跡出土・深鉢形土器
製作者 稲崎新太さん
- モデル 金生遺跡出土・中空土偶のちゅうた
製作者 伊藤崇さん



イノシシの魅力炸裂!

次回は3年後くらいにやるかも!

結果発表

考古博物館・風土記の丘研修センター利用のご案内

山梨県立考古博物館 TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882

開館時間 午前9時から午後5時まで
ただし入館は午後4時30分まで

休館日 毎週月曜日(祝祭日の場合はその翌日)
祝・祭日の翌日(土・日・祝を除く)
年末年始(12月29日～1月1日)
※特別展の準備・撤去作業のため9月25日～10月1日、
11月26日～29日は臨時休館いたします。
また、館内整備のため、令和2年1月15日～17日も
休館いたします。

観覧料 一般・大学生210(170)円 ※()は20名以上の団体料金
注)令和元年10月1日より常設展観覧料は220円になります。
団体料金に変更はありません。
◇次の場合観覧料が免除になります
65歳以上の方 ※要証明書(ただし特別展は県内在住の方のみ)
障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名
小・中・高校生
山梨県民の日(11月20日)

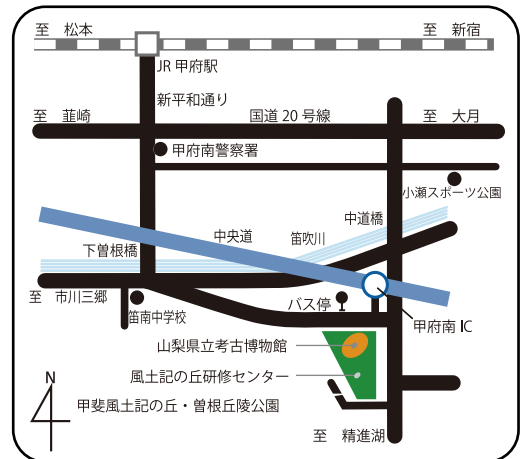
アクセス 路線バスの利用
◇JR甲府駅より豊富行(中道橋経由)～「県立考古博物館」下車
◇JR甲府駅より市立甲府病院行～市立甲府病院で下車・乗り換え
富士急平和観光バス古閑町行～「風土記の丘農産物直売所」下車

自家用車の利用
◇中央自動車道甲府南ICより1分(インター正面)

風土記の丘研修センター TEL 055-266-5286 FAX 055-266-5287

開館時間 午前8時30分から午後5時まで
休館日 毎週月曜日(祝祭日の場合は翌日)祝・祭日の翌日(土・日・祝を除く)
年末年始(12月29日～1月3日)

学校(団体)の利用について
◇教育課程(小・中学校、高等学校、特別支援学校)で入館される場合は
事前に見学の申し込みをお願いいたします。
◇見学時間を十分にとり、ゆっくりと見学できるようにしてください。
◇できるだけ下見をし、担当職員と打ち合わせをしてください。
◇学校見学の申し込みと問い合わせ先:風土記の丘研修センター



発行日 令和元年8月23日
発行 山梨県立考古博物館
住所 〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町923
電話 055-266-3881
印刷 株式会社 峽南堂印刷所

本格的な夏の盛りを迎え、暑さ厳しい季節となりました。令和元年度上半期の活動と下半期の予定をお知らせする考古博物館だより88号をお届けします。
5月から新元号となりましたが、当館では引き続き原始・古代の人々の営みを考古資料から読み解き、新時代「令和」に繋いでまいります。秋からはいよいよ特別展「縄文文化の頂点」も始まりますので、ぜひご来館ください。(あ)